

RIKKEN
MINSHU
号外
2020.5
参議院比例第7総支部版

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press
リッけん

つながって
ささえあう社会へ

新型コロナウイルス感染症対策に 万全を期す！

常日頃より、私たち立憲民主党及び参議院比例第7総支部の活動にご支援をいただいておりますことに、心より御礼を申し上げます。

また、この場をお借りして、新型コロナウイルス感染症によって尊い命を奪われた皆さまに心からご冥福をお祈りすると共に、ご遺族やご友人の皆さまにお悔やみを申し上げます。加えて、日夜、国民の暮らしや健康、地域経済や公共サービスを支えるために最前線でご奮闘いただいている皆さんに、深甚の感謝と敬意を表します。本当にありがとうございます。

今年1月に召集された第201回通常国会では、冒頭にまず「2019年度補正予算案」の審議が行われました。昨年の一連の台風被害に対する復興支援が主たる目的であり、私たちもその部分は賛成でした。ところが、総額4兆4772億円のうち、復興経費は約6900億円、全体のわずかに2割に満たず、一方で、米国からの武器爆買いのローン費用など、補正予算の趣旨に合致しない事業が多数だったために、私たちは反対票を投じました。

また、その後に審議された「2020年度本予算案」も、一般会計予算総額が過去最大の102兆6580億円となり、安倍政権下での予算膨張傾向にまったく歯止めがかからず、財政健全化にも逆行する内容でした。しかも、歳入面では楽観的な税収を見込み、歳出面では防衛関連支出が6年連続で過去最大を更新。その一方で、新型コロナウイルス感染症の対策費は一円も計上されていなかったのです。私たちは、不要不急の予算項目を新型コロナ対策に振り分ける組み替え動議を提出しましたが、政府・与党はそれを否決。ここで組み替えして給付金などを盛り込んでおけば、4月からの支給も可能だったと



考えると、本当に残念でなりません。

国会では、昨年来、主要閣僚の相次ぐ辞任や、桜を見る会に関わる行政の私物化、さらに森友学園問題についての新事実の発覚など、安倍政権の政治姿勢にかかる問題が次々と顕在化してきました。これらはすべて民主主義の根幹を揺るがす問題であり、その追及を徹底的にやって欲しいという声は、今もなお大変大きいものがあります。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中で、まずは国民の生命・財産を守るための議論を最優先にすべきという判断で、政府・与党に積極的に協力しながら、対策を講じる姿勢をとってきました。この点については、ぜひご理解を賜りたいと思います。

ただ、新型インフルエンザ特措法の適用が遅れ、結果として緊急事態宣言の発令も遅れたことや、PCR検査の実施件数が未だに低調なレベルに留まっている問題、さらには事業者や労働者への休業補償の遅れなど、さまざまな対応が後手後手に回ってきたことは、正直、残念です。特措法の適用については、私たちは1月末時点から訴えてきたのですが、安倍政権がその判断をしたのは、3月に東京オリンピック・パラリンピックの一年延期を決定した後でした。一連の政策決定や判断の妥当性は、将来的にしっかり検証する必要があると考えています。

通常国会は、すでに後半戦に入っていますが、今はなにより新型コロナ感染症対策に万全を期することが第一です。今後も、痛みを伴う対応を国民の皆さまにお願いせざるを得ないと思いますが、その一方で、国の責任で十分な補償措置等を講じながら、命と暮らしと雇用を守るための政治を断行していきます。引き続き、地域や職場でのさまざまな問題・課題を私たちにお伝えいただくことも含め、ご支援・ご協力をどうか宜しくお願いいたします。

2020年5月吉日

立憲民主党 参議院比例第7総支部長
参議院議員 石橋みちひろ

石橋みちひろ プロフィール

- 1965年7月1日、島根県安来市生まれ。松江市育ち。
- 学歴
1988年 中央大学法学部法律学科卒業
1991年 米国アラバマ大学大学院修了(政治学修士号取得)
- 職歴・議員歴
1992年～ 全電通(現NTT労組) 中央本部勤務
2001年～ 国際労働機関(ILO) 勤務
2009年～ 情報労連・NTT労組 特別中央執行委員
2010年～ 参議院議員(比例全国区選出。現在2期目)
- 主な役職等

立憲民主党 政務調査会長筆頭代理 / 厚生労働部会副会長 / 外国人受け入れ制度検討PT座長 / 島根県連代表代行 / 参議院厚生労働委員会(筆頭理事) / 予算委員会 / 沖縄及び北方問題に関する特別委員会(筆頭理事) / ILO活動推進連事務局長 / 教育ICT利活用推進議連事務局長 / 非正規雇用対策議連事務局長 / 沖縄等米軍基地問題議員懇談会事務局長 / 他

第201回通常国会 序盤・中盤の国会質問概要

本年1月20日に召集された第201回通常国会は、冒頭に2019年度補正予算案審議を行い、その後に2020年度本予算案審議に移行しました。私は、GW前までに、予算委員会5回、厚生労働委員会5回、沖縄北方特別委員会1回、合計11回の質問に立ちました。以下、それぞれの委員会での質問概要を簡単にご報告しますが、お時間のある方は、是非、参議院インターネット審議中継ホームページで質疑の模様を動画でご覧下さい。

参議院インターネット審議中継 HP: <https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

【予算委員会】

まずは、参議院予算委員会の報告です。1月29～31日にかけて2019年度補正予算案、3月2～27日にかけて2020年度本予算案の審議が行われました。

私も予算委員会の委員として、補正予算案審議は1月31日に、本予算案審議では3月4日、11日、17日、そして27日最終日の締めくくり総括質疑と、合計5回、質問に立ちました。応援をいただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

補正予算案審議では、コロナ感染症対策、桜を見る会問題、多額の防衛予算計上と米国からの武器爆買い問題、民意を無視して強行されている辺野古新基地建設工事や宮古島自衛隊駐屯地の弾薬庫建設問題など、多岐に渡って質問をしました。

特にコロナ感染症対策については、ちょうどWHOが新型コロナウイルス肺炎について「緊急事態宣言」を出したその日に、加藤厚労大臣に対して雇用維持や労働者の生計確保が必要であり、早急な対策を打つよう訴えました。

3月の本予算案審議では、多くの時間を新型コロナ対策、特に労働者や生活者への緊急支援の問題に振り分けました。また、PCR検査の検査体制を早急に拡充することや、医療・介護現場に不足しているマスクや消毒薬を優先的に供給すること、学校休校措置に伴う保護者への支援金を速やかに給付すること、さらにICTを活用した情報発信

の重要性等について、具体的な提案を含めた質疑を行いました。

労働者や生活者への支援については、3月4日の時点ですでに、非正規雇用を含むすべての休業労働者に休業手当が支払われることを徹底するよう要請し、困窮世帯への生活保護の一時支給や、生活福祉資金貸付や生活困窮者支援制度の拡充も要請しています。残念ながら政府の対応は遅かったのですが、4月に入ってから雇用調整助成金（雇調金）の拡充や休業者への給付金など、一歩ずつ提案が形になりつつあります。

正直なところ、政府がこうした私たち野党の提案を、もっと早い段階で取り入れ、実行に移してくれていれば、その後の状況も随分違っていただけたのではないかと残念でなりません。

さらに、全国で学校が休校状態に入った状況を踏まえ、あらためて学校教育にICT（情報通信）を導入して、子ども達の学びの権利を守っていく必要性を萩生田文科大臣に訴えて、大臣からは早急に環境整備を行うことについて前向きな答弁を引き出しました。なお、この時に、文科大臣には子どもたちが学校内だけでなく、自宅でも野外でもどこでもICT端末を用いた学習を行うことが可能になるよう、政府が進めているGIGAスクール構想においては校内WiFi整備だけでなく、無線（LTE）環境の整備にも補助

することを検討するよう、強く要請しました。この甲斐あってか、4月末に成立した2020年度（第一次）補正予算では、まだまだ十分ではないながらも、「家庭学習のための通信機器整備支援事業」として、「LTE通信環境の整備支援」事業147億円が計上されています。この点でも、昨年来、文科省とのやり取りを含め、地道に積み上げてきた議論がようやく動き始めました。



予算委員会（補正予算）（1.31）

【厚生労働委員会】

厚労委員会では、連休前までに5回の質問に立ちましたが、常に働く者・生活者の視点で、生活と雇用を守る観点からの建設的な議論を心掛けています。

①加藤大臣の所信に対する質疑 (3月19日 40分間)

新型コロナウイルス対策では、雇調金の上乗せ措置の全国展開や、学校休校措置に伴う休業を有給休暇や無給の自宅待機とさせられている労働者への対応などについて質問しました。前者の雇調金の上乗せ措置は、私の質問の2週間後の4月1日から全国展開を行うことになりましたし、後者についても、厚労省から「会社が事後的に特別休暇に振り替えた場合でも、今回の助成金の対象とする。」との明確な答弁を引き出すことができました。また、雇用労働に関わる現下の課題として、有給休暇の偽装問題、冠婚葬祭業大手のベルコなどに象徴される雇用偽装問題などについても質問を行いました。

②労基法改正案に対する質疑(3月24日 40分間)

本法案は、労働者の賃金請求権の消滅時効期間を見直すことが主な内容です。方向性は賛成なのですが、本年4月1日に施行される改正民法と比較して、労働者の権利を当分の間、劣後させる内容等が含まれていたことから、しっかりと附帯決議を付け、運用面での担保をとることを意識した質問を行いました。最終的に私が提案した8項目の附帯決議は、全会派の賛同を得ることができましたので、法案の施行から5年経過した後の見直しについて、労政審における労働側委員の後押しをすることができたのではないかと思います。

③雇用保険法等改正案に対する質疑(3月26日 45分間)

本法案はいわゆる「束ね法案」(内閣提出法律案におい



て、複数の法律の改正案を束ねて一本の法律案として提出されているもの)で、評価できる内容と問題がある内容が混在した法案でした。私は、この日の質疑で、問題ある方の「高齢者雇用安定法改正案」に絞って質問を行いました。

この法案は、65歳以上70歳までの就業継続を企業の努力義務とすることが主な内容です。ただ、現状ではまず65歳までの安定的な雇用確保が重要なはずなのですが、驚いたことに、60歳からの「退職再雇用制度」における処遇低下の実態や、30人以下の企業における雇用確保措置の実施状況を厚労省がまったく把握していないことが、私の質問で明らかになりました。これについては早急な是正を求め、厚労省から改善の約束を得ています。

また、最大の問題は、今回の法改正で盛り込まれる70歳までの就業確保措置の中で、個人請負など雇用関係以外の選択肢が新たに可能となる点でした。これについては詳細に問題追及を行い、法案成立後に策定される指針の内容について厚労省から一定の答弁を得て、それを附帯決議にも明記しましたので、今後もしっかりフォローしていきます。

④雇用保険法等改正案に対する参考人質疑 (3月30日 15分間)

この日は、上記の雇用保険法等改正案について、以下の4名を参考人としてお招きし、それぞれからご意見をいただいた後、質疑を行いました。

- ・日本商工会議所産業政策第二部長 湊元良明氏
- ・東京大学社会科学研究所教授 玄田有史氏
- ・日本労働組合総連合会副事務局長 石田昭浩氏
- ・日本労働弁護団幹事長 水野英樹氏

私は、15分間の質問で、3月26日の質疑と同様に「高齢者就業確保措置」、とりわけ雇用以外の「創業支援等措置」の問題に絞って参考人の皆さんに見解を求めました。



⑤一般質疑(4月16日 40分間)

この日の一般質疑は、新型コロナウイルス感染症問題を念頭に置いたものとして行われています。私は、冒頭、労働者の多くが無給の休業を強いられている問題を取り上げました。この休業手当の支払については、3月4日の参議院予算委員会で私がとりあげ、企業が自主的に休業する場合は、原則、労働基準法26条の休業手当の支払義務があることを明確にすべきだと訴えていたのです。ところが、その後の厚労省の対応が曖昧なままであったことら、結果として、企業の多くが休業手当の支払いから逃れてしまったのです。ここであらためて、企業には休業手当の支払い義務があること、もし企業に支払いを求めないのであれば、国が代わりに給付金を支給すべきであることなど、加藤厚労大臣に訴えました。

また、この日の質疑では、雇調金が徐々に拡充されながらも、1人当たりの日額の上限が8,330円で変わっていない問題を指摘し、この引き上げを求めました。残念ながらこの時点でも、加藤大臣は「出来ない」「難しい」という答弁に終始していました。その後、私たちは共同会派で検討している新型インフル特措法改正案の中に、休業手当の支払義務化や上限額の引き上げを明記するなど、政府・与党にプレッシャーをかけ続けています。

なお、厚労委では、この日から、座席配置についても通常以上に議員同士の間隔をあげ、委員長及び質問者・答弁者のいずれもがマスク着用で発言を行うなどの配慮が行われています。

(※本号外の校了時点で、ようやく雇調金の上限額引き上げと休業者への給付金支給の方向性が固まりました。)

【沖縄及び北方問題に関する特別委員会】

3月19日、予算案の委嘱審査が行われ、私も会派を代表して質疑に立ちました。ここ数年、当特別委員会の委員長を拝命していたため、質問に立つのは久しぶりででした。

質疑では、まず「北方領土隣接地域振興等補助金」に関連して、来年度の予算付けの考え方と、この補助金が「北方領土隣接地域振興等基金」の取り崩しによって賄われていることについて、衛藤担当大臣に質問をしました。

この基金事業は、国と北海道が資金を出し合って合計100億円の基金を造成し、その運用益で隣接地域の振興事業を実施してきたものです。ところが、当初は7億円ほどの予算を確保できていたのですが、その後の金利の大幅ダウンで、直近の2018年度には7000万円しか確保できないという事態に陥っていました。

そこで、2年前、私が委員長だった時に、地元からの強い要望を受けて法改正を行い、基金の取り崩しを可能にしたのです。そして、2019年度から基金を一部取り崩し

て、必要な事業費を確保し、隣接地域の振興事業を今一度、強化し始めました。

結果として、2019年度には約4億円の事業費が確保されましたが、その84%、約3億4千万円が基金の取り崩しによって賄われています。地元の皆さんには、これで各種の振興事業の実施が可能になったと喜んでいただいています。本来は、国がもっと予算をつけて、隣接地域の振興に力を入れないといけないはず。そのことを、強く大臣に要望しておきました。

続いて沖縄関連では、自衛隊宮古島駐屯地の弾薬庫建設問題について、地域住民の皆さんの理解がないままに建設工事が強行されている理由を追及しました。宮古島は、そもそも中距離誘導弾のような重火器の弾薬を保管する弾薬庫の建設には不適の土地です。にもかかわらず、防衛省は万が一の火災や爆発事故への対策や避難計画も一切、無

い中で、建設工事を強行しています。まずは一旦工事を中止して、地域住民の皆さんとの対話をあらためてゼロベースで行うべきだと、強く要求しました。

ただ残念ながら、答弁に立った岩田防衛大臣政務官は、防衛体制の強化は国民の安心・安定につながるので大事だとか、弾薬庫建設は火薬類取締法に則って十分な保安距離をとっているので大丈夫だとか、まったく住民の命や安全・安心を確保する意思が感じられない答弁に終始しました。

この点は、私が事務局長を務めている超党派「沖縄等米軍基地問題議員懇談会」で継続的に問題追及を行っていますので、引き続き対応していきます。



沖縄及び北方問題に関する特別委員会（予算委嘱審査質問）（3.19）

国会見学 報告

2019年4月
～2020年4月

17団体の皆さんが
国会見学に
いらっしゃいました!

国会議事堂内の見学のほか、石橋議員との意見交換や事務所見学なども行っています。
また、日程が合えば本会議や予算委員会、厚生労働委員会などの傍聴も可能です。
(所要時間2時間30分～3時間)

【見学申し込みは】

参議院議員会館 523 号室
石橋みちひろ事務所
TEL : 03-6550-0523
FAX : 03-6551-0523

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、国会見学を中止しております。再会した際には、みなさまのお越しをお待ちしております。
※再会時期の見通しが立っていないため、お手数ですが都度お問い合わせください。



NTT 労組東京総支部 (親子見学会) (4:2)



KDDI 労働組合 (親子見学会) (4:3)



NTT 労組持株グループ本部ファシリテーズ総分会 (4:23)



NTT 労組退職者の会 栃木県支部協議会 (4:23)



情報労連 青年女性委員会 NTT 労組 静岡県支部協議会 青年女性委員会: NTT 労組 静岡県支部協議会, frage (合同政治・平和学習会) (4:26)



NTT 労組退職者の会 東京支部協議会 西部会 (5:27)



NTT 労組退職者の会 東京支部協議会 北部会 (5:29)



KDDI 労働組合 (女性執行委員) (5:30)



KDDI 労働組合 (6:13)



NTT 労組退職者の会 東京支部協議会 東部会 (6:19)



鈴木あやこ江東区議員 竹井ようこ小平市議員 両議員のインターン生 (8:13)



NTT 労組ドコモ本部 北海道総分会 東北総分会 (合同政治学習会) (8:21)



NTT 労組データ本部 BS 分会 (11:13)



情報労連大分県協議会 (12:13)



NTT 労組東海総支部名古屋南分会 (政治研修会) (12:16)



NTT 労組ドコモ本部 (スキルアップ研修) (1:8)



NTT 労組ドコモ本部北海道・東北・北陸総分会 (合同政治学習会) (2:6)



石橋みちひろの情報発信

「石橋みちひろ」

公式 Web サイト
・「石橋みちひろ」で検索
・下記 URL か右端 QR コードを入力する
<http://www.i484.jp/>



f「石橋みちひろ 政治家」

Facebook ページ
・下記 URL か右端 QR コードを入力する
<https://www.facebook.com/i.michihiro>
・「石橋みちひろ 政治家」の Facebook 画面になったら「いいね!」をクリックする。

